

計画の名称	音羽地区都市再生整備計画												
計画の期間	令和05年度 ~ 令和07年度 (3年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	菟野町												
計画の目標	<p>大目標：産業の活性化や都市基盤整備の推進による住環境の向上等を図り、その波及効果を促すための地域や資源等を有機的に連携する多極ネットワークを形成し、活力やふれあいにあふれた魅力あるまちづくりを進めていく。</p> <p>工業団地等への産業集積を進めることによる地域の活性化や雇用確保</p> <p>菟野インターチェンジ周辺地域を新都市拠点とした多極ネットワーク型のまちづくり</p> <p>都市活動を支える体系的な道路網の確立</p> <p>産業立地により期待される効果として、雇用の創出、定住者増加による人口流出の防止、地元企業との連携による産業活性化、税収増加等が見込まれる。</p> <p>これらの効果を、町民への多様な公共サービスの提供、既成市街地の維持・再生、少子高齢化の進行を見据え公共交通の利用増進に資する環境づくり等に還元していく。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	743	A	743	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 令和5年度	中間目標値 令和6年度	最終目標値 令和7年度
1	雇用従業員数の増加(うち地元雇用割合5割以上) 企業進出により雇用人数の確保状況を評価する。	20人/日	人/日	500人/日
2	固定資産税の増収 企業進出により固定資産税収入の状況を評価する。	450万円/年	万円/年	650万円/年
3	デマンド交通の利用者数の増加 デマンド交通の利用を促すことにより利用者の人数を評価する。	15300人/年	人/年	17700人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																											
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況								
												R05	R06	R07	R08	R09											
一体的に実施することにより期待される効果																											
備考																											
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	菟野町	間接	菟野インター周辺地区 土地区画整理組合	-	-	菟野インター周辺地区土 地区画整理事業	土地区画整理事業 A=17.0ha	菟野町						743		-								
											小計						743										
											合計							743									

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 音羽地区都市再生整備計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

